

それでもだめなら 皮膚科の治療③
育毛治療をするなら？

育毛剤の使用からはじめる

男性型脱毛症の治療は2010年に日本皮膚科学会が発表した「男性型脱毛症診療ガイドライン」にのっとって進めます。皮膚科でも治療でき、最近はや育毛専門のクリニックも増えています。専門のクリニックでは、男性型脱毛症を英語で「AGA (Androgenetic Alopecia)」と呼びます。

ガイドラインには、確実な効果が実証されている育毛成分が載っています。そのなかで最も使用を推奨されている成分が、「フィナステリド」と「ミノキシジル」です。育毛治療は、これらの成分が配合されているヘアケア製品を利用することが現在のスタンダードです。

ただし、フィナステリドに関しては、女性は使用を禁止されています。とくに妊娠中、授乳中に使うと、胎児や赤ちゃんに悪影響が出る可能性があります。そのため、フィナステリドが配合されている製品は、基本的に医療機関で

男女で同じ育毛剤の使用はNG

男性型脱毛症は男性ホルモンの影響を受けることよって起こります。男性ホルモンは、女性よりも男性のほうが分泌量が多いため、男性型脱毛症になるのは、圧倒的に男性のほうが多いのです。

女性でも男性ホルモンは一定量分泌されています。女性で男性型脱毛症が起きる人は、男性ホルモンの影響を受けやすい体質だといえます。男女ではもともと男性ホルモンの分泌量が違うので、ホルモンバランスに関係する育毛剤も、それぞれに合わせたものでなければいけません。女性が男性用の育毛剤を使わないようにしてください。